

世界遺産富士山の 後世継承に向けて

世界遺産ニュースレター NEWS Letter

vol.34

発行／静岡県世界遺産センター整備課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 TEL.054-221-3657 FAX.054-221-3757
http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/ky-150/fujisanwhc-top/fujisanwhc-top.html
e-mail whcenter-seibij@pref.shizuoka.jp

特集

夏山登山に向けて

©2017年 富士登山混雑カレンダー

世界遺産センター整備課からのお知らせ

研究員コラム
富士山学を拓く

vol.
34
July, 2017

研究員コラム

富士山学を拓く

本年12月23日の開館予定の静岡県富士山世界遺産センターは、富士山学の学際的・国際的・総合的な拠点たるべく、すでに研究活動を進めています。

そもそも「富士山学」とは何でしょう？

私が専門とする美術史や文化史についていえば、たとえば狩野派が描いた富士山図の筆者や様式を考察する研究？

もちろんそれも富士山学の基礎を構成する重要な要素ですが、それだけに限定されません。狩野派の富士山図を単に美術史的メソッドのみによって分析するならば、それは美術史学における作家研究や作品研究の枠を超えるものではありません。わざわざ「富士山学」の看板を掲げるまでもない



狩野晴川院養信筆 「江戸城本丸障壁画絵様 中奥休息の間上段の間床」
東京国立博物館 Image: TNM Image Archive

でしょう。

よく知られるように狩野派は、徳川將軍の技能官僚集団であり、しばしばその政治的要請を受け絵画を制作しました。狩野派絵画の政治的側面を示す例としては、將軍政治の舞台となった江戸城の障壁画をまずあげるべきですが、実は將軍の起居や日常の政務のための場である本丸中奥休息の間の上段の間床には、三保松原や清見寺をともなった富士山が描かれていました。將軍の身体と一体化することにより「御威光」を生み出す文化装置。それこそが江戸城内に描かれた富士山でした。江戸城で演出された光景は、葛飾北斎『富嶽三十六景』ほか江戸時代絵画の常套的な構図となった、日本の起点日本橋からの眺望―富士山と重なる江戸城とも共鳴し、江戸時代人の心性を支配していきます。

以上のように狩野派の富士山図を位置づけようとするならば、従来の美術史だけではなく、政治史や思想史その他の分野との協働が必要となるはずで、そこで提示される成果こそが学際的な研究「富士山学」の初歩的な段階です。

江戸時代の富士山絵画が内包する政治性を、さらに紀元二千六百年（1940年）に代表される近代日本の富士山イメージにつなげ、「富士山の政治史」のようなテーマを設定すれば、より多様な研究分野との連携が求められます。

富士山を定点観測地、モデルケースとして諸学を横断する学際的研究。富士山学がめざす姿の

ひとつです。

そんな富士山学構築の中間報告として、2018年3月4日(日)より富士市文化会館ロゼシアターにて国際シンポジウム「富士山学を拓く」を開催いたします。シンポジウムでは人文科学系の静岡県富士山世界遺産センターと自然科学系のふじのくに地球環境史ミュージアムの研究員が手を携え、さらに国内外から高い知見を有する研究者を招聘し、富士山学研究の最前線をお示しする予定です。

富士山学とは何か―是非ご来場いただき、皆さんの自身の目でお確かめください。

（文化局准教授 松島 仁）



葛飾北斎画 「富嶽三十六景 江戸日本橋」
東京国立博物館 Image: TNM Image Archive

富士山保全協力金のお願い

平成29年の静岡県側の富士山の開山期間は、7月10日(月)から9月10日(日)までです。
この期間に五合目から山頂を目指す登山者の皆さんには、各五合目及び水ヶ塚駐車場において「富士山保全協力金」への協力(基本・千円)をお願いしています。この協力金は、①富士山の環境保全、②登山者の安全対策、③富士山の普遍的価値の情報提供に関する事業に使われます。昨年は、山小屋のトイレ改修、外来植物の侵入防止や富士宮口八合目の衛生センター(救護所)の開設期間延長などに使われました。
御協力いただいた方には、協力者証として、歌川広重の「六十余州名所図会 駿河三保のまつ原」をデザインに取り入れた缶バッジを差し上げます。

夏山登山に向けて

2017年 富士登山混雑カレンダー

7月						
日	月	火	水	木	金	土
[2017年開山日] ①7/1:吉田口 ②7/10:須走口・御殿場口・富士宮口						1 ①開山日
2	3	4	5	6	7	8
9	10 ②開山日	11	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28 吉田口 登山競走	29
30	31					

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11 山の日	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31 富士宮口 大規模ツアー		

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10 ③開山日	[2017年閉山日] ③9/10:全登山口(吉田口・須走口・御殿場口・富士宮口)					

- 【カレンダーの見方】
- 混雑日** 登山者が非常に多く、登山道によっては各所で行列・渋滞が発生し、自分のペースで歩くことは困難。
 - やや混雑日** 混雑日ほどではないものの、全体に登山者が多く、登山道によっては行列・渋滞が発生。
 - 平常日** 日の出時刻前後の山頂周辺を除き、比較的自分のペースで登山が可能。

平日登山のすゝめ

富士山では、7月中旬から登山者が増え、特に週末やお盆の時期に集中します。
山頂で御来光を迎えようとする登山者が多いため、夜明け前に大渋滞が発生し、平日の昼間であれば、1時間程度で登ることができるとは、週末は2時間近くかけて登る必要が生じることが、GPS調査の結果などから分かっています。
安全で快適な登山を楽しむため、なるべく混雑日避け、平常日に登山することをお勧めします。
また、須走ルート(樹林帯を除く)・御殿場ルート(登山道、富士宮ルートの一部では、御来光を望むことができるため、山頂での御来光にこだわらず、宿泊した山小屋周辺で御来光を迎え、明るくなってから、ゆったり山頂を目指すこともお勧めです。

缶バッジ








静岡県・山梨県

富士山 とことん 協力金

世界遺産センター 整備課からのお知らせ

お知らせ① 正式名称とシンボルマーク決定

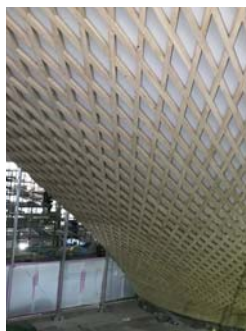
正式名称『静岡県富士山世界遺産センター』とシンボルマーク(左図)が決まりました。シンボルマークは、センターの4つの基本コンセプト「守る・伝える・交わる・究める」に「富士山への興味」という自身自身を足して5本の柱に見立てます。直線の交差で美しく富士山を表現し、センターで人が出会い交わることで知己が広がる様も表しています。



四角の枠は学問と大地の象徴で富士山学を通して知識を深められるように、また、線が四角を飛び出すことで、大地の下のセンターの繁栄を意味しています。



展示棟内の螺旋スロープの内装工事を進めました。



展示棟木格子の組み上げを進めました。

お知らせ② 建設工事の状況

静岡県では、平成29年12月23日の開館を目指して、静岡県富士山世界遺産センターの整備を進めています。昨年3月末より建設工事に着手し、6月末現在、全体の進捗率は約86%です。
今後も安全・品質の確保に留意して、着実に施設が完成するよう整備を進めてまいります。
(平成29年4月～6月)

4～6月は逆円錐形の展示棟外壁に設置する木格子の組み上げ作業を実施しました。また展示棟、北棟、西棟共に内装工事を進めました。
展示棟内部のスロープや、展示棟逆円錐形の展示棟の形がようやく見えてきました。7月中に建物は完成し、それ以降は引き続き外構工事や展示工事を進めてまいります。

お知らせ③ ボランティア募集

静岡県富士山世界遺産センターの開館に伴い、センターでボランティア活動を希望される方を対象とした説明会を実施します。応募を希望される方、検討中の方、詳しく知りたい方などは是非御参加ください。詳しい内容は、静岡県世界遺産センター整備課ホームページをご覧ください。電話にてお問い合わせください。
電話 054・221・2856

お知らせ④ 山の日シンポジウムの開催

富士山世界遺産セミナー(第5回)

テーマ	世界に伝えられた富士の美
日時	平成29年8月11日(金・祝)山の日 午後1時30分～午後4時(午後1時開場)
会場	静岡音楽館AOI 7階講堂
内容	<p>〈講演①〉 講師:日野原健司(太田記念美術館主席学芸員) テーマ:北斎-海を越える奇想の富士 内容:葛飾北斎『富嶽三十六景』が19世紀ジャポニスムはじめ世界に影響を与え続けている様相を概観するとともに、朝焼けの富士を描いたとされる「凱風快晴」の定説に新知見を加える。</p> <p>〈講演②〉 講師:松島仁(静岡県文化局准教授) テーマ:シノワズリの華-ヨーロッパ王侯貴族が愛した富士山 内容:17～18世紀ヨーロッパに輸出され各地の王侯に受容された富士山蒔絵洋筆筒について、最新の調査結果を報告するとともに、同時代の東洋趣味(シノワズリ)の流れに位置づける。</p> <p>〈フリーディスカッション〉 講師:日野原健司、松島仁</p> <p>問い合わせ先 054-221-3657</p>